

横山地区経営体育成基盤整備事業を 振興計画にのせて推進をはかるべきでは

町長…全力で取り組みます



齋藤 公一 議員



どうなる 今後の米価……？

振興策は

富並川伊蔵堰土地改良区(横山地区経営体育成基盤整備事業)を町の振興計画にのせて事業の推進をはかるべきではないか。町長 改良区の意をくんで、国の事業採択に向け全力で取り組み、振興計画に載せ財政面のローリングをはかりながら事業推進の支援に努めていきます。

再質問 臨時財政対策債(5兆円)をもっと多額確保できるように国に働きかけ、事業推進に充当するなど事業の促進に努力すべきではないか。町長 国家予算に一町村が物申すのは難しいが、地方の考えを国や県に反映させるよう意を新たにしていますがばり。

人口増対策は

早急に町営住宅建設に向け取り組み努力すべきではないか。町長 住宅建設は大きな



取り組みが遅れている人口対策

課題であるところ、これまでも定住施策に取り組んできた。しかし、この部分が最も取り組みが遅れてきたので、第6次総合振興計画に公営住宅建設を盛り込みたいと考えている。形態として子育て世代の若い方が入居できるように戸建住宅も視野に入れて検討していきます。また、利便性の高い場所への住宅開発も考え、土地開発公社が責任を持って開発した宅地そのものを活用した住

宅建設ができないか、できれば平成23年度あたりから実施できないか理事長と協議しています。

空き家対策は

平成21年2月現在38戸あるといわれている空き家を活用した政策に取り組むなど、人口増に努力すべきではないか。町長 空き家対策に行政関与は難しい面があるので、民間で活用できればと考えています。



望まれる活気あふれる町づくり(本町通り)



関 幸悦 議員

第6次振興計画を現在策定中で、間もなく私たちに示される最終段階にあると思います。生活にゆとりを持ち実感できる活気あふれる安心・安全な町づくりを計画のなかで、具体的にどのように進めようとしているのか町長 計画は基礎となる基本構想の最終段階に入っております。新たな計画の理念とし、

小学校統廃合の進捗状況は

統廃合は23年4月1日とせまっています。閉

再質問 当町の特産品とし、米・スイカ・ソバを生産販売しています。通年生産販売できるように新たな商品化を開発し、町がリーダーシップをとり、農協・商工会・第3セクターである振興公社と連帯を取り組む考えはないか。町長 基幹産業である農業の振興に努めてきた。今後モJ.A・町商工会・地域振興公社と連携を深め積極的に地場産品の活用を努めます。支援については、国・県の動向を見極め、検討します。

校・開校の進捗はどのようになっているのか。また、平成33年度に再編して1校にする計画になっています。10年後は出生数も50人と想定されるなか複式学級は思っている以上に進むのではないかと考えられます。子供たちのより良い教育環境づくりに準備委員会を早急に立ち上げ進めるべきではないか。

再質問 5校廃校になりますが、廃校になる校舎の利活用はどのように考えているのか。町長 活用方法については、町全体の視点や地域活性化の観点など広い視野に立ち、地区民の考えを最優先に取り入れ、検討委員会を設置し活用方法を検討すべきと考えます。

安心・安全な町づくりを
振興計画にどう生かすのか
町長…基本構想の最終段階で取り組んでいる

